

# 附属学校園で 働く、成長する。

切磋琢磨して資質の向上を目指す

## 兵庫教育大学附属学校園のミッションとビジョン

### ミッション

#### 大学と一体となった先導的な教育実践研究の推進

「教師教育のトップランナー」をビジョンとして掲げる大学と一体となり、先端的な教育手法を取り入れ、理論と実践の融合に取り組み、先導的な教育実践研究を推進します。

#### 新しい時代の教員養成に即した教育実習の実施

学校や社会の変化を見据えつつ、将来学校教員となる学生に対して教育実習を提供し、新たな時代を担う教員の資質・能力の向上に努めます。

#### 地域のモデル校としての役割の遂行

現代的教育課題の解決に挑む教育研究活動を推進し、その成果を地域社会に還元することによって、地域のモデル校としての役割を担います。

### ビジョン

#### 学校像

先端的な教育環境のもとで、幼稚園、小学校、中学校の12年間を通して、園児・児童・生徒、教職員、保護者が一体となって、地域社会と連携しながら、一人一人の子どもの学びと成長が保障される創造性豊かな学校をめざします。

#### 子ども像

これからの社会において必要とされる情報活用能力を身に付けるとともに、主体的かつ対話的な教育活動を通して、心身ともにたくましく、未来を切り拓いていける知的創造力と寛容性を兼ね備えた、グローバル社会で活躍できる人間を育成します。

#### 教員像

全国の自治体から附属学校園に派遣される教員が、附属学校教員としての自覚をもち、互いに敬意をもって高め合い、先進的で優れた教育実践に挑み、地元自治体の中心的な教員として活躍できる資質・能力の向上に努めます。

## ●兵庫教育大学附属学校園の特徴

### 毎年研究発表会を実施

毎年、開催時期・方法の変動はありますが、研究テーマを決めて研究発表会を開催しています。国の拠点校及び地域のモデル校となるべく、研究成果を積極的に発信するとともに、全国各地から参加される先生方と情報交換することができます。

### 多数の実習生受け入れなどの経験

教員養成大学であるため、例年、附属幼稚園では前期約130名、後期20名、小学校では前期80名、後期80名、中学校では前期約20名の教育実習生を受け入れます。多くの教育実習生を指導しながら、後輩教員育成の技術も身に付けていきます。

### 全学年教科担任制の導入（附属小学校）

令和2年度から附属小学校全学年に教科担任制を導入し担当教科の研究を深めるとともに、1クラス6～10名の教員が授業を担当するようになり、中学校のように授業を展開し子どもたちが学習相談しやすい体制を整えています。

### 附属学校園全体で給食実施

附属学校園は、令和2年度に調理場の施設設備を一新し、独自で給食を調理し提供しております。附属小学校と附属幼稚園で連携し交流給食も行います。附属幼稚園では、令和3年度の2学期から本格実施することにしていきます。



栄養教諭 安積 貴美

待ちに待った新しい給食調理場で、衛生管理基準に基づき安全・安心な給食の提供を実施しています。幼

稚園から中学校の12年間を通して、望ましい食習慣が育成されるように、今日も子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、「キュ!キュ!キュ!給食」の曲をかけて給食放送をしています。

## ●兵庫教育大学附属学校園は教員の成長を促します!

- ◎ 恵まれた環境で個性豊かな教育指導・研究が行える
- ◎ 大学と連携し、内容の濃い実践的教育を学ぶことが出来る
- ◎ 教員の資質向上を目標とした研究が可能で、現場での実践に役立つ



# たとえば、こんな**メリット**があります

## 大学・附属間の連携による共同研究・事業の実施

大学教員に研究発表会の各分科会で助言を依頼しているほか、各教科の研究会を定期的開催するなどして連携を深め、大学教員や附属学校間のネットワークづくりを進めています。

## 変形労働時間制の導入

附属学校園の教員には、業務量で労働時間が増減する1年単位の変形労働時間制を導入しています。したがって、年間の出勤日数は少なく、特に夏休み期間の出勤日数は、非常に少なくなっています。

## 在職中の大学院進学

附属学校園在職中に各校園長の推薦により、派遣元道府県・市町教育委員会、本学学長の了承のもと、入学金及び授業料を本学が負担して、勤務しながら本学大学院（博士課程は対象外）に入学することができます。

## 在職期間終了後の大学院就学

附属学校園に原則3年以上勤務して交流元に戻られた後、入学金及び授業料を本学が負担して、実践的指導力の更なる向上及び高度な専門性の修得を図る目的で本学大学院（博士課程は対象外）に入学できる制度があります。

## 人事交流者との情報交換

令和3年度は、兵庫県を含む11道府県2政令指定都市から34人の教員が人事交流で来ています。それぞれの地域の特色や経験を活かしながら情報交換を行い、より良い教育のあり方を目指して授業の実践や研究を行っています。

## 派遣元教育委員会等での教育研究成果発表

附属学校園での教育研究の成果発信として、派遣元教育委員会等で成果発表会を計画し附属学校園で経験されている教育研究状況を地元を提供することができます。また、様々な教育委員会、教育センター、学校園と関わりを持つことができます。

## 個人研究費の活用

個人研究のための学会・セミナー、担当教科の研修会等への参加や少額備品の購入が可能な研究費を措置します。令和2年度より小学校にも教科担任制を導入し、専門の教科に特化して研究を行えます。

## 教員免許状更新講習の優待

附属学校園の教員が、本学の教員免許状更新講習を受講する場合、資質向上の研修の一環として位置付け、講習受講料を免除するとともに、本学卒業生・修了生同様の先行予約を可能としています。



やりたい!が  
カタチにできる

兵庫県  
明石市からの交流  
附属中学校教諭  
清水 麻衣

探究総合やキャリア総合を軸にSTEAM教育をふまえた教科横断型の授業作りができます。他教科の先生とともに考える過程は楽しく、新たな視点を学べるので魅力的です。各教科で研究テーマに沿った実践の共有や、大学の先生方から専門的な助言を頂き、より深い実践研究ができます。豊かで自由な発想をカタチにできる学校で一緒に働いてみませんか。



教師として  
学び続け  
成長できる  
職場環境

北海道  
帯広市からの交流  
附属小学校教諭  
黒川 達也

日本の各地から集まる先生方と日々学び合うことのできる魅力的な職場です。子どもたちの自主性・主体性を育てる教育活動を職員が協同で創り上げていく中で、自分自身の教育観が磨かれていきます。教科担任制で、教科担当者同士が学び合うとともに、大学の先生の指導・助言をいただくこともできます。教科の専門性を高めるのにもとても良い環境です。



自分の保育を  
見つめ直す

滋賀県  
大津市からの交流  
附属幼稚園教諭  
大角 彩子

附属幼稚園では、様々な現場で経験をされている先生方に出会うことができます。それぞれの先生の保育を見たり、共に保育について話し合ったりすることで、自分の保育を見つめ直すことができ、新たな視点や方法を考えるようになりました。今までの経験と附属幼稚園での経験を融合させながら、よりよい保育を目指していこうと思っています。



## 兵庫教育大学附属幼稚園

〒673-1421 兵庫県加東市山国 2013-4  
TEL.0795-40-2227 FAX.0795-40-2228

## 兵庫教育大学附属小学校

〒673-1421 兵庫県加東市山国 2013-4  
TEL.0795-40-2216 FAX.0795-40-2219

## 兵庫教育大学附属中学校

〒673-1421 兵庫県加東市山国 2007-109  
TEL.0795-40-2222 FAX.0795-40-2225